第54期

株主通信

2018年12月期
(2018年1月1日～2018年12月31日)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。
2018年12月期の株主通信をお届けいたします。

社訓

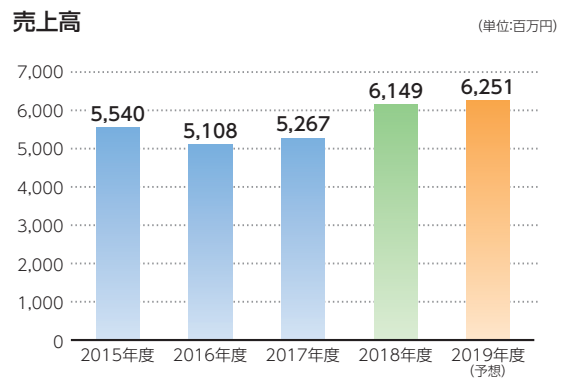
「技術は命」「良品は力」「誠意は道」

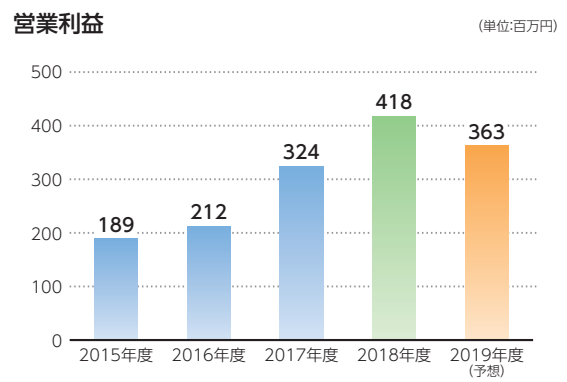
不二精機株式会社
証券コード：6400

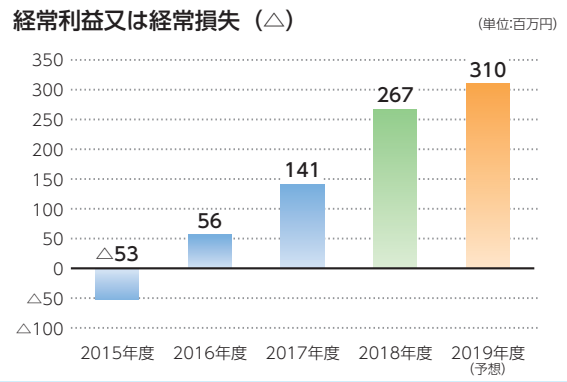
JPX 東証JASDAQ上場

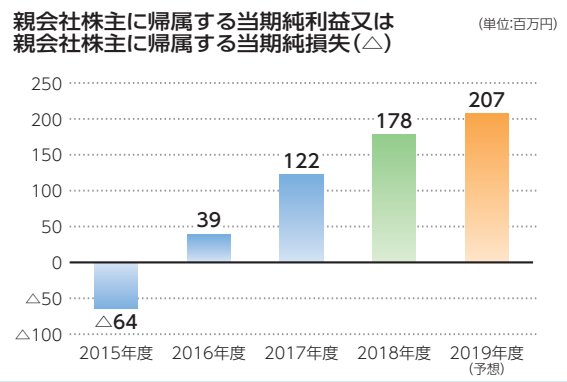
PRODUCT MOTHER

連結財務ハイライト









概況

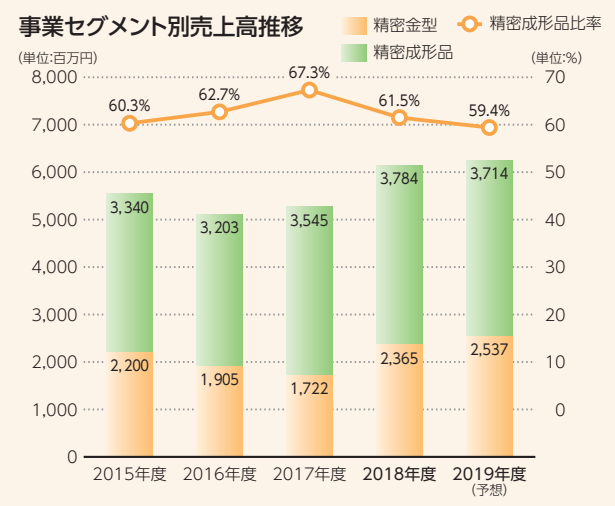
2018年度の売上高は、精密成形品事業では自動車用部品を中心にタイ市場での急激な受注拡大があり、前期比2億39百万円増(6.7%増)の37億84百万円となりました。精密金型事業では前期からのずれ込み分を含め活発な受注が続き、前期比6億43百万円増(37.3%増)の23億65百万円となりました。売上高合計としては、前期比8億82百万円増(16.7%増)の61億49百万円となりました。

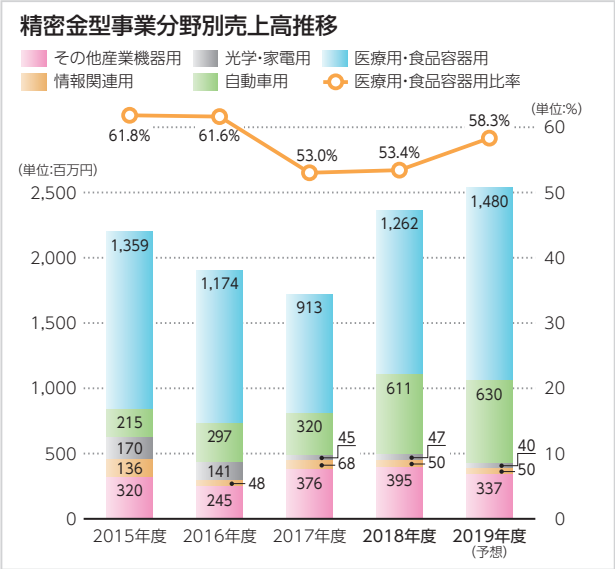
営業利益は、精密成形品事業でタイでの大幅な増益があり、前期比94百万円増(29.0%増)の4億18百万円となりました。

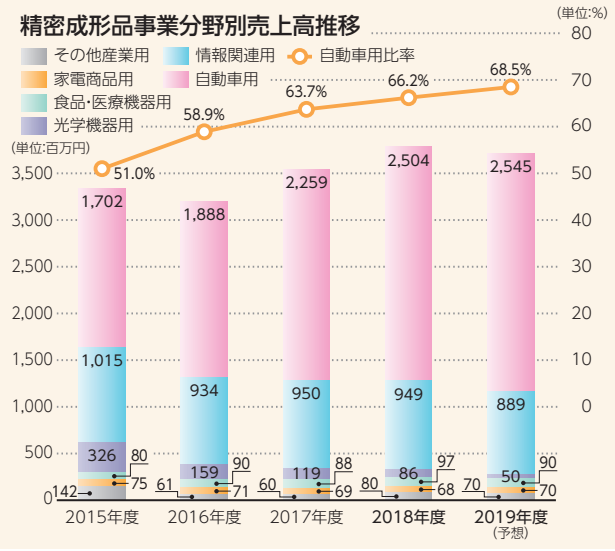
経常利益は、インドネシアルピア安などによる為替評価損56百万円(前期は37百万円の為替評価益)が発生しましたが、シンジケートローンの一時費用と支払利息の減少などにより、前期比1億26百万円増(89.4%増)の2億67百万円となりました。

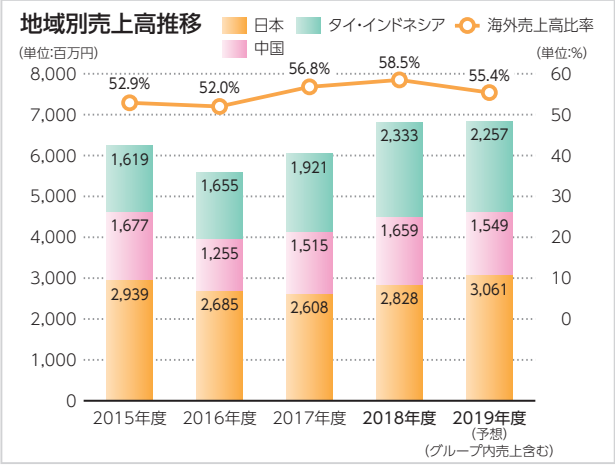
親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加などにより、前期比56百万円増(45.9%増)の1億78百万円となりました。

2019年度は、将来の受注拡大に向けての研究開発投資(61百万円)の実施と精密成形品事業での2020年度以降の増産準備など体制整備の期間となることを予想しております。









事業セグメント別

当社の事業セグメントは、祖業であり競争力の源泉であります精密金型事業と2001年の上場を機に参入した精密成形品事業で構成されております。

精密金型技術を活用した精密成形品事業の売上高比率は、2014年度以降、売上全体の60%を超えて推移しております。

中期的な方針として売上規模の拡大は、自動車用部品分野を中心とした精密成形品事業(下記精密成形品事業≪分野別≫資料をご参照ください)で計画しております。

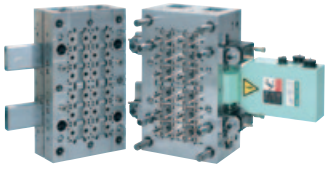
2019年度につきましては、精密金型事業で医療用関連分野での安定的な受注の増加による売上高の増加を予測しております。

精密金型事業≪分野別≫

精密金型事業は、価格競争に陥る分野とは一線を画し、売上規模の拡大ではなく、より付加価値の高い製品への集中を進めております。

医療用関連分野・食品容器関連分野への受注活動に注力し、併せて研究開発活動および製造原価構造の改革による利益率の向上を目指しております。

【注射器用金型】

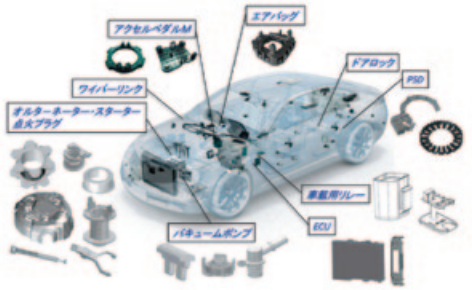


精密成形品事業≪分野別≫

精密成形品事業は、長期安定生産につながる自動車用部品(2輪・4輪)分野の拡大を計画的に進めております。

品質管理体制のレベルアップを着実に実施し、増加した受注への対応のための増産体制の整備を順次実行しております。

【4輪車関連の受注部品例】



地域別

地域別の売上高は、2013年度以降、海外売上高の比率が50%を超えて推移しております。

タイ・インドネシア市場では自動車用部品の受注拡大に対応し、成形設備の増強を進め、売上規模のさらなる拡大を目指しております。

日本市場では精密金型事業で医療用関連分野を中心に、精密成形品事業でブルーレイディスク用などのディスクケース製品で安定的な売上を確保しております。

中国市場では米中貿易摩擦や中国当局による環境規制の状況に適宜対応するため、人員削減などによる固定費の圧縮で一定の利益の確保を目指し、規模の拡大は計画しておりません。

TOPICS

東南アジアでの増産投資

タイおよびインドネシアでの自動車用部品成形品の受注拡大に伴い、2019年度および2020年度以降の増産に対応するための建物の改装、成形設備の増設と併せて、生産性の向上と品質管理の改善のための自動化投資を順次実施しております。

2019年度は、今後のEV化（電動化）に対応する自動車用部品の製品開発などに向けて研究開発投資（技術的・人的投資）に関連する費用を業績予想に折り込み、中期的な受注拡大につながる具体的な活動を実施して参ります。

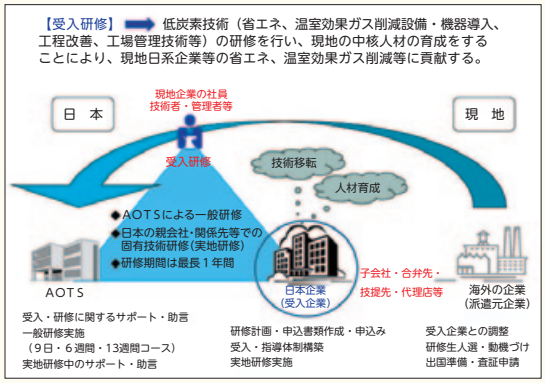
海外子会社研修生制度開始

子会社の中長期的な技術力向上を目的として、タイおよびインドネシアの子会社の若手従業員に対する計画的な技術研修制度を開始いたしました。

AOTS（一般財団法人 海外産業人材育成協会）の補助制度の認定をいただき、当社の松山工場で金型技術を中心とした研修を1年単位で毎年繰り返し実施する予定です。

この研修による着実な技術レベルの向上により、子会社の現地での競争力強化および品質管理体制の整備を進めて参ります。

【AOTSの受入研修制度】



譲渡制限付株式報酬制度の導入

当社の企業価値の持続的な向上を図り、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的とした取締役、監査役に対する譲渡制限付株式報酬制度の導入を2019年3月28日開催の第54期定時株主総会で決議いただきました。

さらに企業価値の向上を持続的に進めるため、従業員全員を対象とする譲渡制限付株式を使用した報酬制度を2019年度中に開始いたします。

役員、従業員全員が株主となり、社外の株主の皆様と同一の目線で当社の企業価値の向上を目指し、全社一体となり考動（当社グループでは「考えて動く」を行動理念としております）して参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

会社の概要・株式情報

会社概要 (2018年12月31日現在)

商号	不二精機株式会社 FUJI SEIKI CO., LTD.
設立	1965年7月1日
資本金	5億円
従業員数	108名
事業所	本社・松山工場・関東営業所
主な事業内容	プラスチックを加工するための射出成形用精密金型および成形システムの製造・販売 精密成形品その他の製造・販売

ネットワーク (2018年12月31日現在)

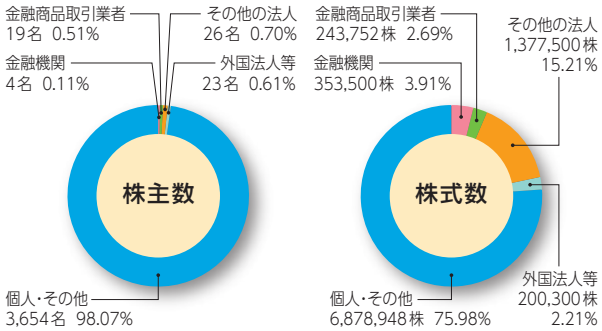
役員 (2019年3月28日現在)

代表取締役社長	伊井　剛
取締役副社長	宮﨑　正巳
専務取締役	山本　幸司
取締役	藤本　由数
取締役（社外）	高橋　秀昭
常勤監査役	菅　一明
監査役（社外）	梅田　浩章
監査役（社外）	橋本　豊嗣

株式の状況 (2018年12月31日現在)

発行可能株式総数	23,720,000株
発行済株式の総数	9,054,000株
株主数	3,726名

株式所有者別状況 (2018年12月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会　毎年12月31日 期末配当　毎年12月31日 中間配当　実施する場合は6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 TEL　0120-094-777（通話料無料）
公告方法	電子公告 電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL　https://www.fujiseiki.com/

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでも、当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

https://www.fujiseiki.com/

トップページ

IR情報ページ

不二精機株式会社

UD FONT

VEGETABLE OIL INK

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
環境に配慮した植物油インキを使用しています。